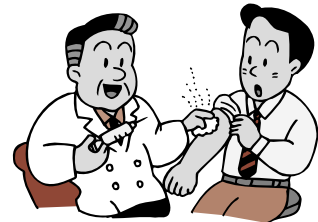


# 10月15日から国保インフルエンザ助成がスタートします！

北秋田市国民健康保険では、10月15日から国保事業としてインフルエンザ予防接種助成を実施します。この助成事業は、0歳から64歳までの国保加入者の感染症対策として接種費用の一部を助成するものです。接種を希望される方は、かかりつけの医師とご相談の上、早めの接種をおすすめします！

- 助成対象者** 北秋田市国民健康保険加入者(擬制世帯主を除く)で、接種日において64歳までの方。  
北秋田市高齢者インフルエンザ予防接種対象者以外
- 助成期間** 平成20年10月15日～平成21年1月31日。  
医療機関により接種開始日が異なりますので、事前に実施医療機関にご確認ください
- 申請手続** 接種時に医療機関に備え付けの申請書に必要事項を記入し、その医療機関に提出してください。  
必ず保険証をお持ちください
- 助成額** 1回につき1,500円。(接種料金が1,500円未満の場合はその実費額)  
なお、医師の指示等により接種を2回に分けて行った場合は、それぞれにつき助成。  
接種料金から助成額を差し引いた分を自己負担額として医療機関に支払うこととなります
- 医療機関** 北秋田市内の医療機関(順不同)

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
北秋中央病院	62-1455	たむら内科クリニック	63-2700	疋田外科内科医院	78-3338
鷹巣病院	62-1210	津谷内科	62-2261	公立米内沢総合病院	72-4501
うえだクリニック	60-1055	としま医院	62-1267	市立阿仁病院	82-2351
遠藤クリニック	63-0515	藤原医院	62-2882		
近藤医院	62-1155	毛利整形外科クリニック	69-5300		
佐々木産婦人科医院	63-0105	盛岡外科医院	62-1101		
奈良医院	62-1146	児玉内科クリニック	69-7311		
たかのす今村クリニック	62-5655	国民健康保険合川診療所	78-3161		



《お問い合わせ》 保険課 ☎62-1118 または各支所市民福祉課まで

## 市長日誌

9月1日～15日

1日(月) 秋田県市町村総合事務組合正副管理者会議に出席(秋田県市町村会館) 第8回北秋田市農政懇話会に出席(中央公民館) 北秋田市移動行政懇話会に出席(森吉コミュニケーションセンター)

2日(火) 9月1日付け人事異動に伴う辞令交付式(市役所) 秋田フィンランド協会役員会に出席(市役所) 株式会社伊徳との災害協定調印式に出席(市役所) 北秋田市移動行政懇話会に出席(合川支所)

4日(木) 木質バイオマス実証プラントに係る説明会に出席(リサイクルセンター会議室)

5日(金) 全県商工会連合会役員トップセミナーで内陸線について講演(打当温泉) 秋田内陸線利用促進シンポジウムに参加(阿仁ふるさと文化センター)

9日(火) 秋田内陸線の存廃にかかる知事・仙北市長との三者会談に出席(県庁) 地域公共交通総合連携計画法定協議会に出席(仙北市)

10日(水) 平成20年北秋田市議会9月定例会本会議  
初日(議事堂)

15日(月) 鷹巣地区敬老式に出席(中央公民館)



議会本会議初日(9/10)

## 「小さな大学校」の節目を祝う

竜森小学校創立130周年記念式典



地域住民、関係者ら約150人が出席し、節目を祝った竜森小学校創立130周年記念式典

北秋田市立竜森小学校(明石勝美校長、児童数12人)の創立130周年記念式典が9月21日、同校体育館で開催され、児童や地域住民、PTA関係者卒業生ら約150人が出席し、記念式典と祝賀会でこれまでの歴史を振り返るとともに、節目を喜び合いました。

同校は明治11年8月、七日市小学校小猿部分教室として与助岱に設立されました。同25年に竜森尋常小学校と改称、昭和に入り国民学校時代を経て22年に現在の校名になりました。45年には葛黒小学校と統合し47年、新築された現校舎に移転、52年

には創立100周年を迎え、現在に至っています。

しかし、かつては200人を超えていた児童数も過疎化や少子化の影響で年々減少し昭和56年からは複式学級でのクラス編成を余儀なくされており、適正規模化のため今年度限りで閉校し鷹巣南小学校と統合することになっていきます。

記念式典では、清水修智実行委員長が、創立以来の同校の沿革や学校林活動の思い出などを紹介しながら、内閣総理大臣賞を受賞するなど、植林活動の伝統が今に受け継がれ、交通安全子ども自転車大会では全県13連覇するなど、地域を元気づけてくれたことは大きな誇り」と振り返りました。

校長式辞などの後、全児童による130周年を喜ぶステーション発表が行われ、緑の少年団活動などの写真や創作した詩、俳句を紹介しながら、緑がいっぱい守ってね。みんなの森、みんなの水。今、地球を守ろう」とメッセージを送り、「竜の子はかしこく、やさしく、たくましく。おめでとう130周年！僕たちの竜森小学校、ふるさと竜森！」と喜びを表現しました。



類焼を防ぐため地域住民によるバケツリレーによる消火訓練

秋田県消防協会大館北秋田支部総合防災訓練が9月7日、阿仁地区で行われ、消防団員、地域住民、日赤奉仕団、阿仁中学校の生徒など26団体約400人が参加しました。

訓練は、北秋田市防災計画に基づき北秋田市と県消防協会大館北秋田支部が主催。午前10時20分森吉山を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生し、阿仁合地区で震度6弱を記録、火災発生や家屋の倒壊、ライフラインの寸断など甚大な被害が発生との想定で行われました。

水無地区の神社では、類焼を防ぐため住民がバケツリレーによる消火

訓練を行い、「ハイ、ハイ」と声を掛け合いながらスムーズにバケツが渡されていきました。また、輻射熱の遮断や避難路を確保する水幕ホースの放水も行われました。

阿仁中学校グラウンドでは、救助隊による倒壊建物からの救助、9月1日から運用開始した阿仁救急隊の高規格救急車による救命処置、救助者を医療機関へ搬送するため防災ヘリ「なまはげ」に引き継ぐ連携訓練が迅速かつ正確に行われました。

訓練終了まで、広報・通信・火災防御・消防警戒区域の設置・避難支援・災害対策本部の設置・救急・救助・防災ヘリ搬送訓練・消火・炊き出しの総合訓練を消防関係者、地域住民など参加者の連携と協力により無事に行う事ができました。

閉会式で、統監を務めた佐藤副市長が、災害は忘れた頃にやってくるのではなく、昨年の豪雨災害のように突然、身近で発生し、甚大な被害を与える。常に有事に備え防災意識をしっかりと持つことが大切」とあいさつ。この日行われた訓練の講評をし、防災対策への重点事項を確認し合いました。

## 有事に備え防災訓練

秋田県消防協会大館北秋田支部総合防災訓練